

エコシティとその社員は、
お客様の満足を第一に考え、
四国の循環型地域社会
構築への貢献を目指します。



株式会社 エコシティ

建設リサイクル事業

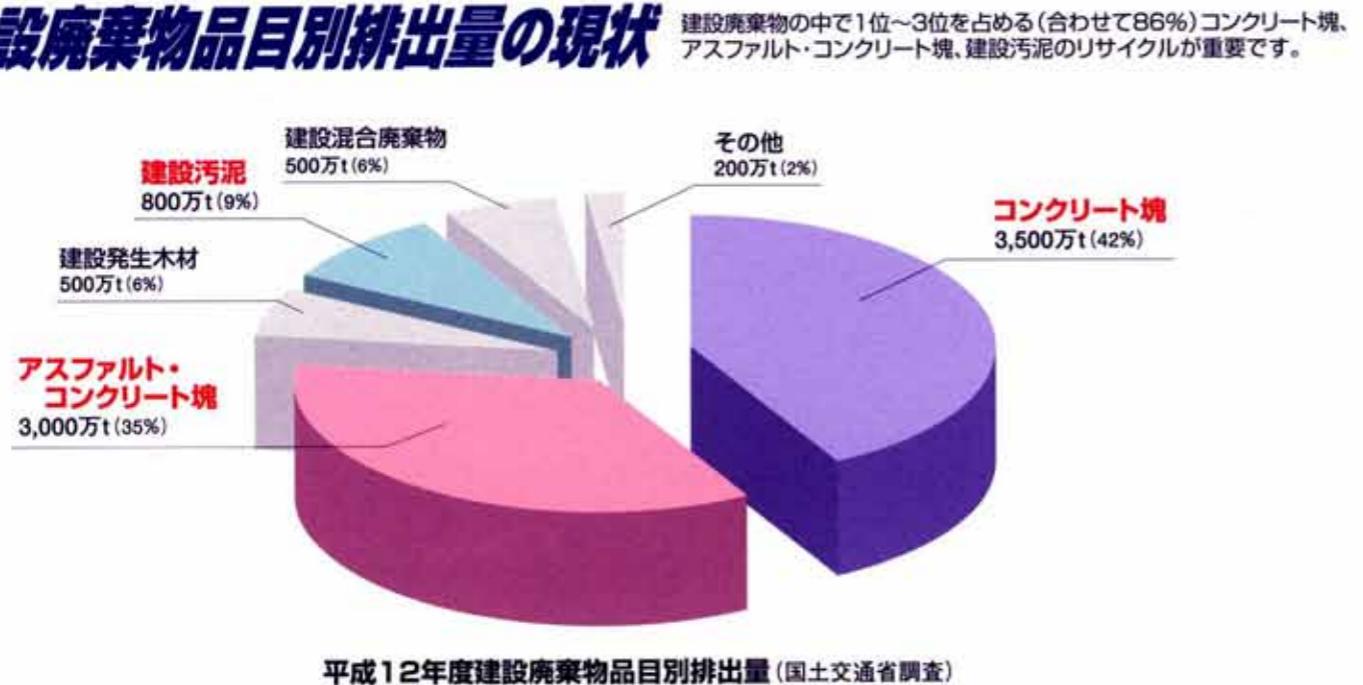
取り扱い品目

- 汚泥(無機汚泥)
- 建設廃材(コンクリート殻、アスファルト殻)
- 建設残土(改良土にリサイクル)
- 再生資材(碎石、埋立土)の販売

URL:<http://www.ecocity2001.com/>
<情報が盛りだくさんです>

今なぜ汚泥リサイクルプラントが必要か!

建設廃棄物品目別排出量の現状



建設廃棄物の課題

最終処分場の
残余容量はひっ迫

建設廃棄物は量が多い
II
環境への負荷が大きい

- ① 全産業廃棄物
排出量の約2割
- ② 全産業廃棄物
最終処分量の約3割
- ③ 全産業廃棄物
不法投棄量の約6割
- ④ 縮減(焼却)はCO₂を排出する

排出抑制

平成7年度 → 平成12年度
建設廃棄物排出量は14%減少

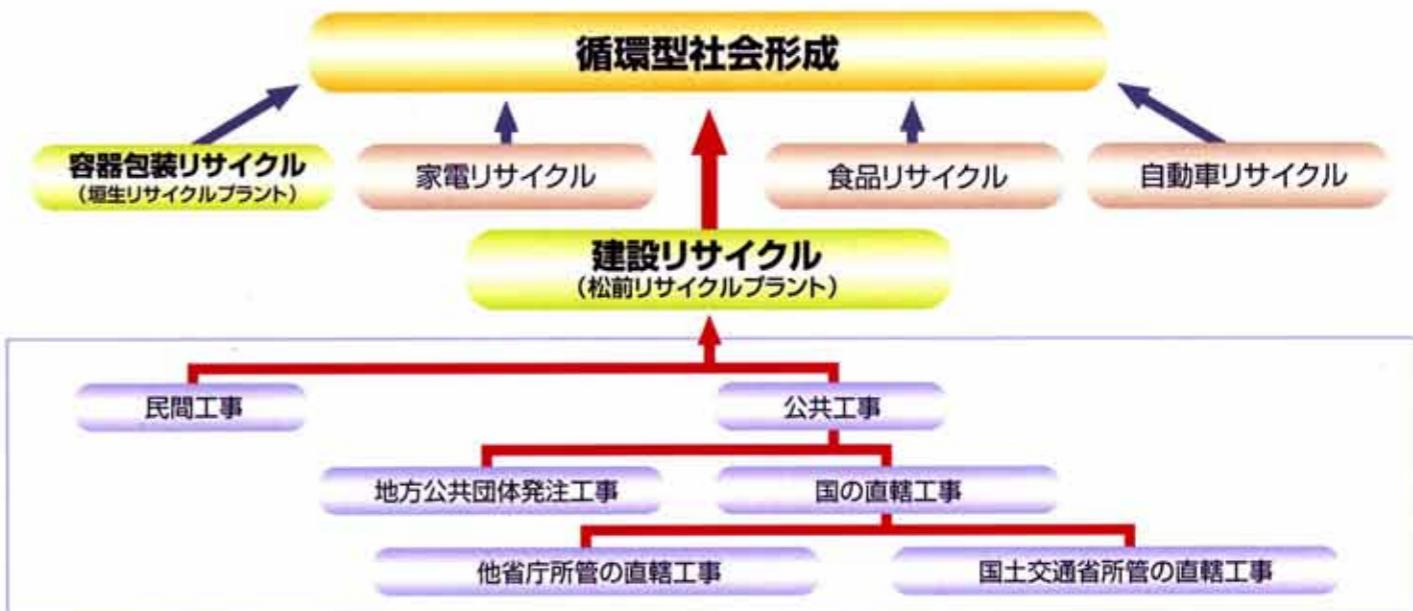
平成12年度 → 平成22年度
建築物の解体から発生する建設廃棄物
は約60%の増加が予想される

再資源化等の推進

平成7年度 → 平成12年度
建設廃棄物の再資源化等率は58%
から85%に大幅に上昇

ただし、建設発生木材、建設汚泥、
建設混合廃棄物の再資源化率は
低迷している。

循環型社会形成推進への対策



- 平成12年5月 建設リサイクル法公布
- 平成13年1月 建設リサイクル法基本方針告示
- 平成14年5月 建設リサイクル法完全施行
建設リサイクル推進計画2002策定

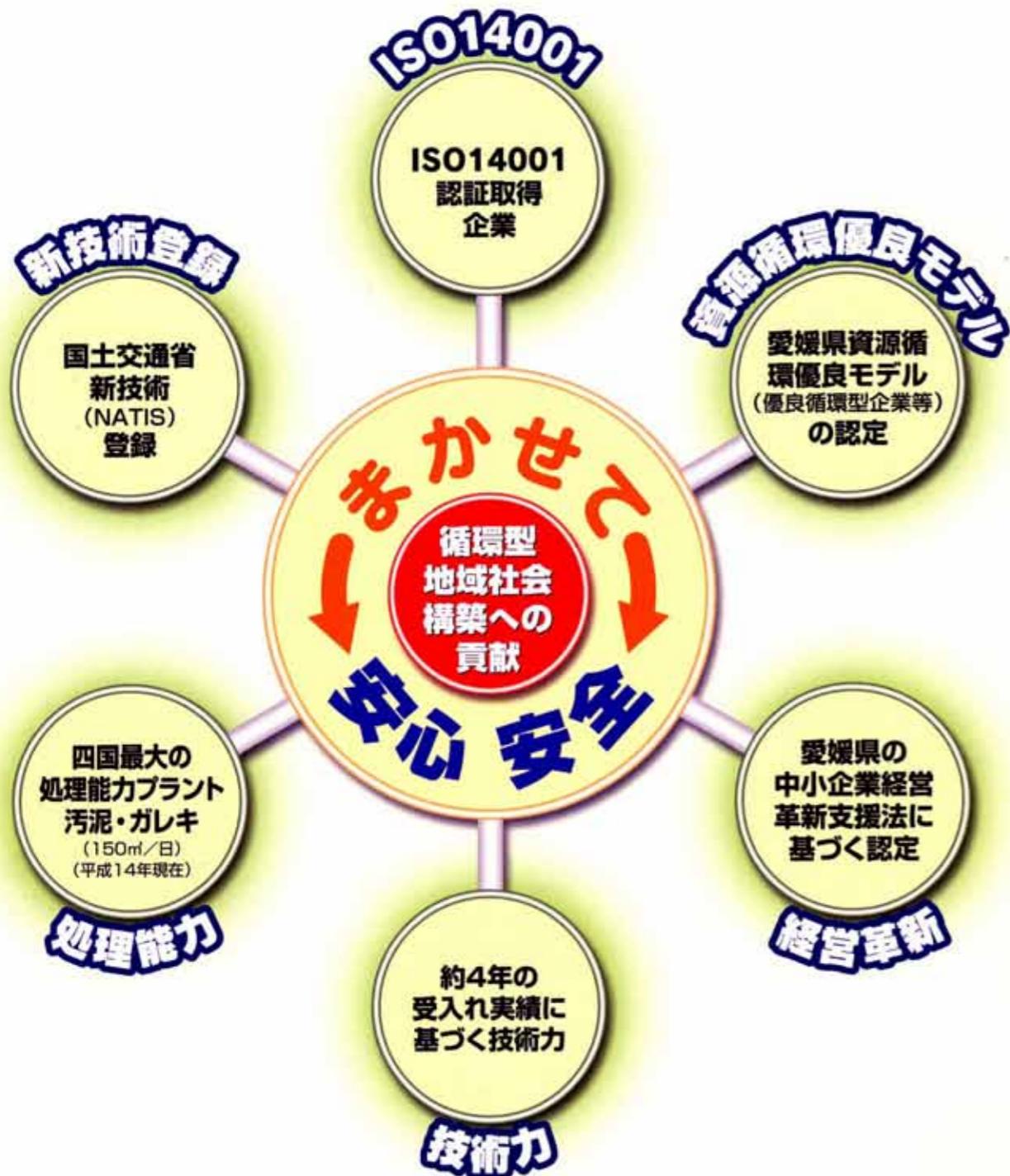
- 平成14年5月 建設副産物適正処理推進要綱改正
建設リサイクルガイドライン改正
リサイクル原則化ルールの改正

建設リサイクルの目標

建設廃棄物	目標は再資源化・縮減率	平成17年度目標	平成12年度実績
アスファルト・コンクリート塊	98%以上	98%	98%
コンクリート塊	96%以上	96%	96%
建設汚泥	60%	41%	
建設混合廃棄物：排出量の抑制を目標とする	対平成12年度 排出量25%削減	800万トン	
建設発生木材 ()内は再資源化率	90%(60%)	83%(38%)	
建設発生土	目標は有効利用率	75%	60%

国の直轄工事においては、平成17年度までにコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の最終処分量ゼロを目指す。

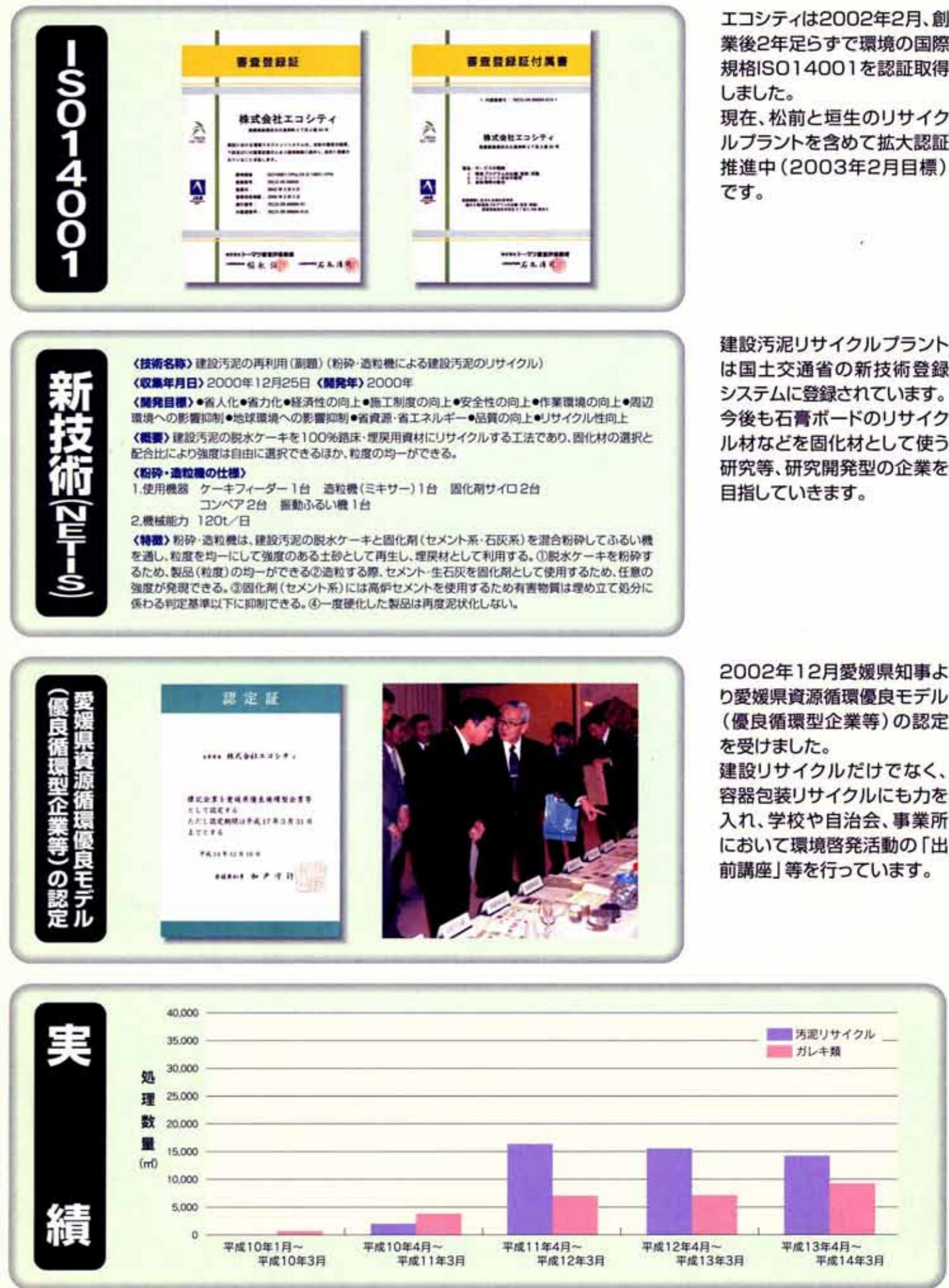
エコシティの6つの強み



『産業廃棄物分野の構造改革』

産業廃棄物の「悪貨が良貨を駆逐する」構造にある従前の産業廃棄物処理の世界を、顧客である排出事業者から安心される優良な業者が市場の中で優位に立てるよう関係者全員の取組を通じて転換する改革。

環境省「今後の廃棄物・リサイクル制度の在り方について(意見募集)」より抜粋



エコシティは2002年2月、創業後2年足らずで環境の国際規格ISO14001を認証取得了しました。

現在、松前と垣生のリサイクルプラントを含めて拡大認証推進中(2003年2月目標)です。

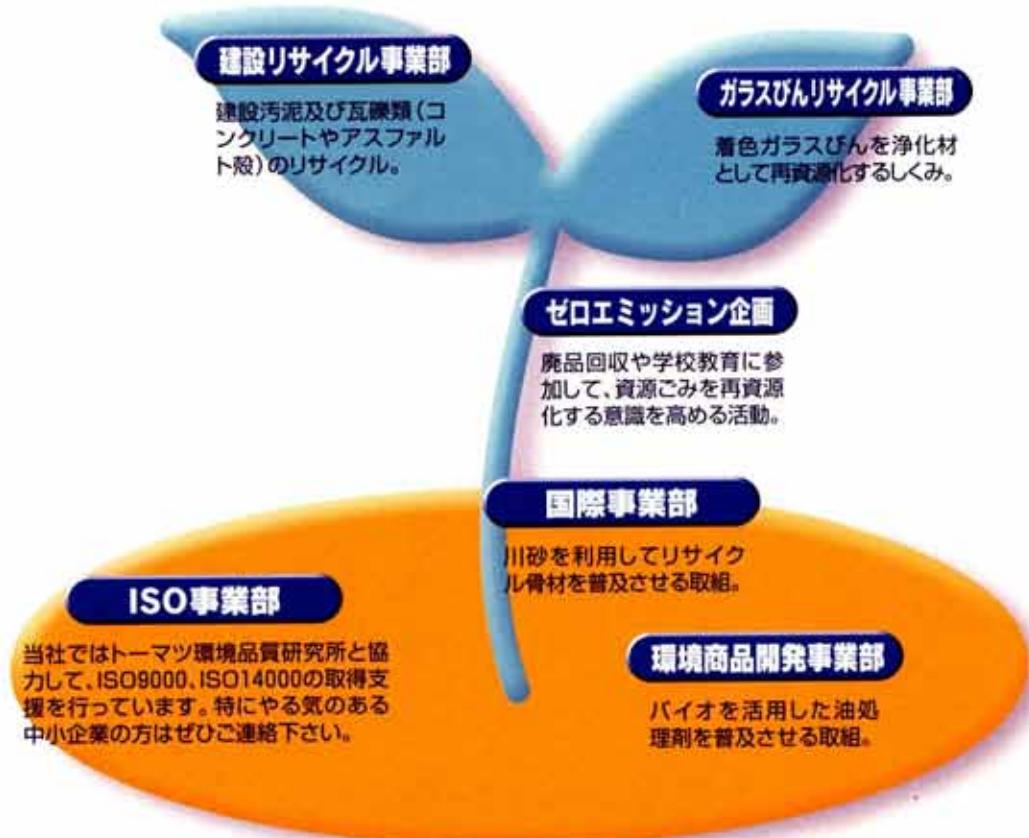
建設汚泥リサイクル



がれき類のリサイクル アスファルト・コンクリート類



ecocityの主な営業内容



株式会社エコシティ

松前リサイクルプラント

産業廃棄物処分業許可 3822100623
産業廃棄物収集運搬業許可 3800100623
〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町大字北川原1139-1
TEL(089)984-5141 FAX(089)984-5395



垣生リサイクルプラント

(愛媛再資源化研究所)

ガラスびん再生処理事業者 5138020020
〒799-0872 愛媛県新居浜市垣生3丁目乙306-5
TEL(0897)45-1757 FAX(0897)45-4163



R100
古紙配合率100%再生紙を使用している

若無此言，則人情更復何似？



*このパンフレットは再生紙に、大豆インキで印刷しています。

2002-12-21.1500